

# APP 環境新聞

発行日 2021年5月31日

発行者 エイピーピー・ジャパン株式会社



APPは持続可能な開発目標 (SDGs)を支援しています。



## 「森の再生プロジェクト」活動報告書 <1>



第1四半期活動報告書



ライン造林法で苗を植える

エイピーピー・ジャパン株式会社 (APPジャパン) は、コピー用紙の売上の一部をベランタラ環境保護基金に寄付してインドネシアの森の再生に取り組む「森の再生プロジェクト〜いっしょにSDGsに取り組もう!〜」を行っています。このたび、現地から活動報告書が届きました。

ベランタラ基金はプロジェクトに先立って、場所の選定、スケジュール、予算、苗の調達先、植樹を行うメンバーの確保などに関して、現地調査と現地スタッフとのオンラインミーティングを繰り返し行いました。

そして、初年度の植樹エリアを、北緯 01°20'894、東経 101°56'316” 周辺の10haに決定しました。ここは、ギアム・シアク・ケチル=ブキット・バツ生物圏保護区の中にある、APPグループの植林会社セカト・プラタマ・マクムール社が保護している泥炭林です。

貴重な自然林が森林火災によって失われてしまった現地は、シダや低木が多く、苗を植える前に整地しなければなりません。火を使って雑草を焼き払う方法もありますが、森林火災のリスクやCO<sub>2</sub>の排出、スタッフや地域住民の健康被害を考慮し、ベランタラ基金はなたを使って下草を除去することにしました。時間はかかりますが、周辺環境への影響の少ない最良の方法です。

植えた苗はインドネシアの自生種であるメランチとレサク、ラミンの3種類です。ラミンは絶滅危惧種に指定されています。これらの苗をライン造林法によって植えていきます。この造林法は、整地した土地に5mの間隔で線を引き、苗をその線上に植えていく手法です。森を再生するには、雑草との生存競争に負けず、かつ、苗同士が栄養を奪い合うことなく育つように苗を植える必要があります。狭い土地において最も効率的な植樹が、このライン造林法なのです。(次号報告につづく)

## SGEC/PEFC セミナー開催

ブランドみらい  
企業の魅力UPセミナー  
~SDGs x ESG x ???~

5月20日、国際森林認証制度SGEC/PEFCの事務局がオンラインセミナーを開催しました。

冒頭には、明治の実業家、澁澤栄一氏の曾孫で農学博士でもある澁澤寿一先生が基調講演をされ、自然共生型社会・循環型社会を見出すとともに、「宇宙船地球号」を持続可能な方法で次世代に繋いでいく重要性について語られました。

つづいて、「持続可能性」と「環境配慮」に取り組む企業の事例が発表され、自然の恵みを糧に事業活動を行う企業に欠かせない、社会の共感を育み、協働し、自然環境と共生する取り組みについて報告がありました。

最後に、オリンピック開催に合わせた森林認証ロゴ普及キャンペーン実施について6月中にHP上で発表するとSGEC/PEFCから報告がありました。後日こちらからご確認ください。

<https://sgec-pefcj.jp/>



## 感謝を込めて「ありがとうカード」をお届けしました

APPジャパンは、「森の再生プロジェクト」に多大なご貢献をいただいているお客様に「ありがとうカード」をお渡しさせていただいています。

今回、株式会社野沢商店様 (栃木県足利市) をお訪ねしてカードをお届けしました。野沢商店様は、当社のコピー用紙をはじめとする資材を主に大手自動車メーカーに納めていらっしゃいます。コロナ禍によって環境が変化中、消毒や除菌ができる電解水生成装置の取り扱いをスタートされ、withコロナ時代に対応して新たな市場開拓に積極的に取り組まれています。

APPジャパン社長の日暮は、「『納入先の環境意識が高まってきたので、商品を提案する際にこのプロジェクトを紹介したい』と仰ってくださいのお客様もいます。今後は、エンドユーザーがインドネシアの環境問題を自分ごととして受け取れるよう、情報発信とプロジェクトのさらなる推進に努めます」と述べています。



左:野沢商店社長 野沢様  
右:APPジャパン社長 日暮

## 日経ESG 4月号にインタビュー記事が掲載される



日経ESG 4月号にて、APPジャパンの会長であるタン・ウィ・シアンの未来戦略インタビューが掲載されました。

インタビューでは、2013年に発表した「森林保護方針」や「持続可能性ロードマップ ビジョン 2020」の進捗報告に加え、昨年発表した「持続可能性ロードマップ ビジョン 2030」を紹介しています。

「持続可能性ロードマップ ビジョン2030」は「ビジョン

2020」で掲げた10の重要項目を「生産」「森林」「人々」の3つの柱にまとめ、SDGsや気候変動などの世界共通の目標に対して取り組むものです。

「生産」ではカーボンフットプリントの30%減を掲げ、「森林」ではこれまで同様に50万ha以上の自然林を保護・再生してCO<sub>2</sub>の吸収源とします。また、森林地域に住む「人々」の生計を支援することで焼き畑を抑制し、CO<sub>2</sub>を大量に排出する森林火災を防止するなど、気候変動対策に関連しながら、SDGsの多くの目標の達成を目指す内容となっています。

また、社会(Social)への貢献活動として、インドネシアの森林地域で行っている女性の生計支援プログラムやベランターラ環境保護基金について紹介するとともに、タンが発起人のひとりとなった「気候非常事態ネットワーク(CEN)」など、多くのステークホルダーとの共同取り組みについて紹介しました。記事については、こちらをご参照ください。

<https://project.nikkeibp.co.jp/ESG/atcl/column/00006/031900032/>

### CDP 2020 「気候変動」「森林」でB評価

CDPが2020年に大手企業や都市を対象として行った評価について、APPIは「気候変動」と「森林」でB評価、「水」でBマイナス評価を獲得しました。

CDPは環境分野に取り組む国際NGOであり、2000年にその前身「カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト」が設立されてから、気候変動等への取り組みに関する質問書を

企業等に送付し、その回答を評価して結果を公開することで、ESG投資の旗振り役として存在感を高めています。

B評価は、9段階評価のうち、上から3番目にあたります。最高評価ではありませんが、国内製紙業界の中では相対的に高い評価をいただいております。2013年の「森林保護方針」以降のAPPの取り組みが評価されています。

<https://www.cdp.net/ja>

### Amazonサイト内にストアページを開設

APPジャパンは、ECサイトAmazonにおいて従来多くのご要望をいただいていた、自社製品をご紹介するストアページを開設しました。

Amazon 上では、PEFC認証品や「森の再生プロジェクト」の対象商品を中心に、様々なブランドのコピー用紙を販売しています。特に、主力製品はベストセラー商品(高品質マルチ用紙 A4 2,500枚/インクジェット用紙)や“Amazon's choice”指定商品(ホワイトコピー用紙 A4 2,500枚/コピー用紙)にもなっています。

今回開設したストアページでは、「普段使いに」「特別な書類に」「再生コピー用紙」など、用途別や特徴別にご紹介をしています。今後、ユーザーの皆様にとり商品選択の一助になれば幸いです。



APPジャパンストアページ

<https://www.amazon.co.jp/stores/page/47D31484-AE40-41F7-AC15-472DEAAA1163>

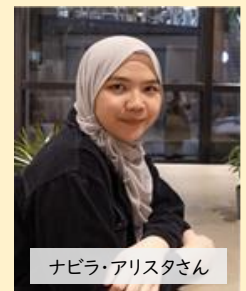
### はじめまして ナビラ・アリスタです

2021年3月、社会貢献の一環として、インドネシアの留学生ナビラ・アリスタさんをインターンとして受け入れ、SDGsに関するAPPの環境取り組みや、PR業務であるエッセイライティングを学んでいただきました。下記に一部を紹介します。

+++++

私が初めて日本にやってきたのは、中学生のときです。日本に恋をした私は高校卒業後に立命館アジア太平洋大学に進み、現在は同大学院の博士課程で学んでいます。

今では日本の生活様式にも慣れましたが、初めて来たときは日本のハイテクなトイレに驚かされました。私にとって、日本でトイレを使うことは未知の世界に足を踏み入れるようなものでした。数々のボタンにさまざまな機能。それだけでも混乱してしまうのに、流水音を出すボタンまであるなんて……。誰もいない個室で勝手にふたが開いたときには、幽霊かと思って怖くて震えたものです。



ナビラ・アリスタさん



### インドネシアの熱帯林保護のため、ご協力をお願いします/ベランターラ基金への寄付・協力の方法

- 1 APPジャパンのコピー用紙を購入する→売上の一部がスマトラ島の森林再生事業に寄付されます
- 2 個人・法人等で寄付をお考えの方→APP ジャパンにご連絡ください([sustainability@appj.co.jp](mailto:sustainability@appj.co.jp))